

慣用句の基本をマスター！
読み・書き・意味

名前

26問

問題 一

(一) 次の慣用句の——部分の読みがなを()にひらがなで書きましょう。

- ① 目玉が飛び出る (めだま)
- ② 腹が立つ (はら)
- ③ 猫の手も借りたい (ねこ)
- ④ 泡を食う (あわ)
- ⑤ 陰で支える (かげ)
- ⑥ 油を売る (あぶら)
- ⑦ 眉唾物 (まゆつばもの)
- ⑧ 色眼鏡で見る (いろめがね)
- ⑨ 太刀打ちできない (たちう)
- ⑩ 火蓋を切る (ひぶた)

(二) 次の慣用句のカタカナ部分を()に漢字で書きましょう。

- ① ホネを折る (骨)
 - ② イキをのむ (息)
 - ③ ムシが好かない (虫)
 - ④ ハナが高い (鼻)
 - ⑤ カタを落とす (肩)
- あまりの美しさや恐ろしさ、はっとして、一瞬息が止まるように感じること。
ある目的のために、苦勞したり努力したりすること。
何かを誇らしく思ったり、得意になったりすること。
理由もなく、なんとなく相手のことが受け入れられない感じ。
がっかりしたり、元気がなくなったりする様子。

問題 三

次【一】の慣用句を使って、短い文を作りましょう。 【油を売る】 仕事や勉強の途中で、無駄話などをして怠けること。

(例) おつかいの途中で、友達と油を売っていて帰りが遅くなった。

問題 二

(二) 次の慣用句の意味として正しいものを、ア〜ウから選び、○をつけましょう。

- ① 目が点になる
ア 目がとても小さいこと。
イ とても驚いて、呆然とすること。
ウ 目にゴミが入って痛いこと。
 - ② 鼻にかける
ア 鼻に何かを乗せて遊ぶこと。
イ 鼻風邪をひいて苦しいこと。
ウ 自分のことを自慢すること。
 - ③ 口が重い
ア あまりしゃべらないこと。
イ 一口の中に食べ物がいっぱいなこと。
ウ 言うことがとても大切なこと。
 - ④ 手を焼く
ア 料理が上手なこと。
イ 扱いに困って、どうしようもなくなること。
ウ 火傷をしてしまうこと。
 - ⑤ 足が地に着かない
ア 空を飛んでいること。
イ 嬉しさや不安で落ち着かないこと。
ウ 靴が合わなくて歩きにくいこと。
- (三) 次の意味に合う慣用句を、ア〜ウから選び、○をつけましょう。
- ① とても忙しくて、どんな助けでも欲しいほどであること。
ア 油を売る イ 猫の手も借り ウ 骨を折る
 - ② 自分の欠点や弱点を言われて、聞いているのがつらいこと。
ア 耳が痛い イ 目が回る ウ 頭が下がる
 - ③ 長い時間歩いたり立っていたりして、足がとても疲れること。
ア 肩を落とす イ 足が棒になる ウ 腰を抜かす
 - ④ 隠していた悪いことなどが、うっかり表に出してしまうこと。
ア 釘を刺す イ 尻尾を出す ウ 泡を食う
 - ⑤ 何か悪いことが起こりそうな嫌な予感がすること。
ア 顔が広い イ 元の鞘に収まる ウ 虫の知らせ

いくつわかるかな？

